

みずほCustomer Desk Report 2024/11/22号(As of 2024/11/21)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	155.12
TKY 9:00AM	155.20	1.0546	163.73	GBP/USD	1.2657
SYD-NY High	155.41	1.0555	163.74	AUD/USD	0.6512
SYD-NY Low	153.91	1.0462	161.75		
NY 5:00 PM	154.54	1.0474	161.82		
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	43,870.35	461.88	日本2年債	0.5700%	0.0200%
NASDAQ	18,972.42	6.28	日本10年債	1.0900%	0.0200%
S&P	5,948.71	31.60	米国2年債	4.3466%	0.0268%
日経平均	38,026.17	▲ 326.17	米国5年債	4.2991%	0.0160%
TOPIX	2,682.81	▲ 15.48	米国10年債	4.4188%	0.0059%
シカゴ日経先物	38,265.00	▲ 50.00	独10年債	2.3115%	▲0.0295%
ロンドンFT	8,149.27	64.20	英10年債	4.4380%	▲0.0310%
DAX	19,146.17	141.39	豪10年債	4.5790%	0.0200%
ハンセン指数	19,601.11	▲ 103.90	USDJPY 1M Vol	11.66%	0.10%
上海総合	3,370.40	2.41	USDJPY 3M Vol	10.95%	0.18%
NY金	2,674.90	23.20	USDJPY 6M Vol	10.72%	0.13%
WTI	70.10	1.35	USDJPY 1M 25RR	▲1.81%	Yen Call Over
CRB指数	288.32	2.08	EURJPY 3M Vol	10.81%	0.59%
ドルインデックス	106.97	0.29	EURJPY 6M Vol	10.72%	0.55%

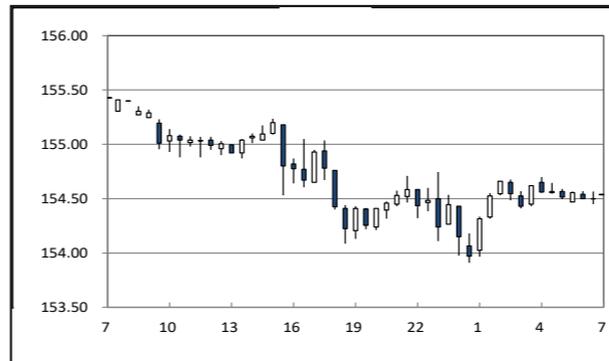
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月21日	14:00	日 植田日銀総裁 講演		「12月会合は最新のデータに基づいて決定」
	14:00	欧 ビルロワト・ガロー・フランス中銀総裁 講演		「ユーロ圏のインフレのリスクは下向きに変化している」
	15:30	米 ウィリアムズ NY連銀総裁 講演		「インフレは沈静化しつつあり、一段の金利低下を予想する」
	22:30	米 フィラデルフィア連銀景況	11月	-5.5 8
	22:30	米 新規失業保険申請件数	16-Nov	213k 220k
11月22日	00:00	欧 消費者信頼感・速報	11月	-13.7 -12.4
	00:00	米 中古住宅販売件数	10月	3.96m 3.95m

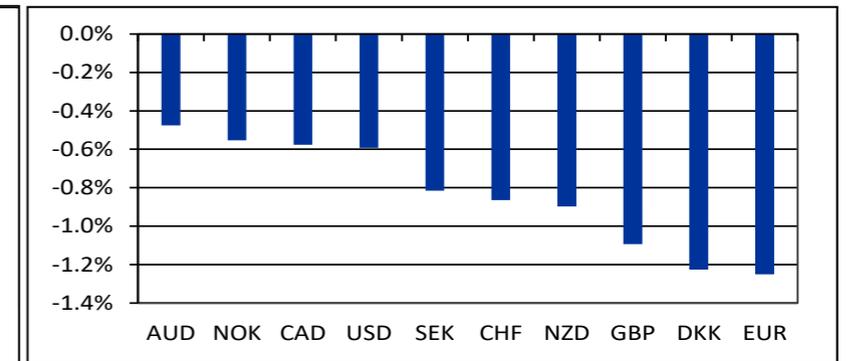
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月22日	08:30	日 全国/コア/コアコアCPI	10月 2.3%/2.2%/2.2%	2.5%/2.4%/2.1%
	09:01	英 GfK消費者信頼感	11月 -22	-21
	16:00	英 小売売上高(除自動車燃料、前年比/前月比)	10月 3.3%/-0.4%	4.0%/0.3%
	16:00	独 GDP(前期比)・確報	3Q F 0.2%	0.2%
	17:30	独 製造業/サービス業/コンポジットPMI・速報	11月 43.0/51.7/48.7	43.0/51.6/48.6
	18:00	欧 製造業/サービス業/コンポジットPMI・速報	11月 46.0/51.6/50.0	46.0/51.6/50.0
	22:30	加 小売売上高(前月比)	9月 0.4%	0.4%
	23:45	米 製造業/サービス業PMI・速報	11月 48.9/55.0	48.5/55.0

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	153.50-155.20	1.0380-1.0500	161.00-163.00

【マーケット・インプレッション】

昨日植田日銀総裁は再び発言したものの、市場参加者が期待していた12月の日銀金融政策決定会合のヒントは示さなかった。「現時点での会合の結果を予測するのは不可能」、さらに「(次回会合まで)まだ1か月程度ある。それまでの期間に非常に多くのデータや情報利用可能となるだろう」とコメントしており、今後発表される指標などを見ながら市場の利上げ織り込みは変動していくだろう。そんな中、本日は本邦10月消費者物価指数(CPI)が発表される。先んじて公表された10月東京都部CPIは特段強い結果とはなっていないが、物価の下げ止まり感あるいは反発感が確認される結果となると12月会合での利上げ観測が高まり円買いが強まるだろう。さらに、ロシア・ウクライナを巡る地政学リスクも燃り続けている。ロシアは反撃の可能性に言及しており、引き続き関連ヘッドラインにも注意したい。

東京	東京時間のドル円は155.20レベルでオープン。植田総裁の発言機会を前に、午前中は155円ちょうど付近で動意に欠ける展開が続いた。午後に入ると、植田総裁の「12月会合結果は予測不可能」との発言に加え、ウィリアムズNY連銀総裁の「金利はさらに低下する可能性がある」との発言もヘッドラインが出るとドル円は154.53まで急落。結局154.80レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、154.80レベルでオープン。ウクライナに加え中東情勢に絡んだ地政学リスクへの警戒感から全体的に円買いとなる。その後反発を経て、結局154.47レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は155円台前半でスタート。日経平均株価の軟調な展開や、米金利の低下が重しとなり、じり安での推移が続く。154.47レベルでNYオープン。朝方に発表された新規失業保険申請件数は予想を下回るも、失業保険継続受給者数が予想を上回り、強弱まちまちな結果となる。この結果を受け、米金利は低下で反応し、ドル円も一時153.91まで続落する。しかし、その後は米金利が低下幅を縮小する動きに追随し、154.60付近まで戻す。午後は米金利が高水準で推移する展開が支えとなり、高値圏の154.50付近での値動きが続き、154.54レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.05台半ばでスタート。ビルロワト・ガロー・仏中銀総裁が「ユーロ圏の成長とインフレのリスクは下向きに変化している」等との発言を受け、独金利の低下に伴った売りが優勢となり、1.0527レベルでNYオープン。午前中は米金利の低下を横目に、1.0544まで上昇する場面もあったが、その後は伸び悩み、1.05台ちょうど付近まで反落。午後は米金利が高水準で推移する展開が重しとなり、1.0480付近を挟んだ上値重い推移が続き、1.0474レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。